

2 級 学科試験問題

1. 試験時間 60 分

2. 問題数 50 題 A 群（真偽法 25 題）及び B 群（多肢択一法 25 題）

3. 注意事項

- (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。（電源は予め切り、バック等にしまって下さい）。
- (2) 机上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
- (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
- (5) 試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認してください。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。
- (6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
- (7) 解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。
- (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
- (9) 問題は、A 群（真偽法 25 題）及び B 群（多肢択一法 25 題）の 50 題です。
 - ① 真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤のどちらか一つを記入して下さい。
 - ② 多肢択一法は、問題に対応する選択肢の中で、正解と思う選択肢を一つ選び、解答用紙に記入して下さい。
 - ③ 解答用紙の注意事項を必ず確認し、A 群、B 群の解答欄を間違わないように記入して下さい。
- (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。
- (11) 試験開始後 30 分間は退出できません。30 分経過後に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。退室後は試験が終了するまで再入室はできません。
- (12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。
- (13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。
- (14) 試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

■ A群（真偽法）

1. 許認可をうけた産業廃棄物処理業者に対しては、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を特に交付しなくてもよい。
2. 清掃方法のゾーニングとは、汚れの種類や汚れる区域の特徴によって清掃方法などを変える手法である。
3. 建築物衛生法（略称）における事業の登録は、営業所の所在を管轄する厚生労働省の登録を受けることができる。
4. 水栓の材質は、銅合金製でクロームまたはニッケルめっきがされている。
5. 床維持剤のスリップ事故の原因は、床の被膜と靴の間に、空気の層が存在することである。
6. パッドはナイロンなどの不織布に鉱物性の研磨剤を付着させたものである。
7. 真空掃除機のフィルターは目に見えないほこりや細菌も取り除くことができる。
8. 建築物に付着する異物は、付着物の性質により、汚れとごみに区分される。
9. 天井仕上げ材は、吸音性・断熱性に優れ、防火性能のよい材料が使用される。
10. すべり（転倒）災害の防止として、第一は、通路を確保（障害物を置かない）することである。
11. 3Rのリユース（再使用）とは、ビンのように洗浄等の処理を経て再度使用することをいう。
12. 事業登録における建築物環境衛生総合管理業には、建築物における清掃も含まれる。
13. 樹脂・可塑剤・安定剤からなるバインダーの含有率が40%以上のものは、コンポジションビニルタイル床に分類される。
14. 自在ぼうきは、一般的に、はじき掃きで使用する。
15. ポリッシャーの操作は濡れた手では取り扱わない。
16. 和風建築の床の板張り仕上げをフローリングまたはフローリングポートという。

17. 漂白剤には、酸化漂白剤と還元漂白剤があるが、酸化漂白剤は塩素を含むので酸性洗剤と混合してはいけない。
18. 高速バフマシンは 200～250rpm の高速回転で光沢復元と強靱な被膜が形成できる。
19. ごみの中間処理の目的は、減量化・安定化・経費削減の効率化を図ることをいう。
20. 建築物環境衛生空気管理基準では、ホルムアルデヒドの量を空気 1 m³につき 0.5 mg以下と定められている。
21. RC 造とは、鉄骨鉄筋コンクリート造のことである。
22. 一般に標準作業時間の中には、「会議」「教育」などが時間に含まれる。
23. ごみの収集回数は、みだりに多くしないほうがよく、週に 1～2 回を普通とする。
24. 床維持剤を塗布すると、床の表面に平滑な被膜を作り汚れの除去を容易にする。
25. 作業計画作成にあたっては、ムリ・ムラ・ムダがないか留意し、仕様変更があった場合は修正を加える。

■ B群（多肢択一法）

1. 建築物衛生法（略称）の登録基準のうち、最も不適切なものはどれか。
 - イ 質的基準
 - ロ 物的基準
 - ハ 量的基準
 - ニ 人的基準

2. 床の日常清掃として、最も不適切な作業はどれか。
 - イ 除じん作業
 - ロ 拭き取り作業
 - ハ 表面洗浄作業
 - ニ バフ掛け作業

3. 廃棄物処理法（略称）に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
 - イ 廃棄物には、放射性物質に汚染されたものも含まれる
 - ロ 廃棄物には、燃えがら、汚泥、ふん尿なども含まれる
 - ハ 廃棄物は、一般廃棄物と産業廃棄物に分類される
 - ニ 産業廃棄物は事業系廃棄物に分類される

4. し尿浄化槽設備として、最も不適切なものはどれか。
 - イ 中和槽
 - ロ 腐敗槽
 - ハ 酸化槽
 - ニ 消毒槽

5. 品物の積み上げ・立てかけの原則として、最も不適切なものはどれか。
 - イ 形のそろった物はそろえて積むこと
 - ロ すぐ使う予定の物は下積みにならないこと
 - ハ 積み上げる物の高さは底の幅の約3倍以下にすること
 - ニ 大きな物から小さな物へ、軽い物から重い物へ順番に積み上げること

6. 漏電している真空掃除機の原因についての説明で最も不適切なものはどれか。
 - イ コード・スイッチの絶縁不良
 - ロ モーターの絶縁不良
 - ハ モーター内の浸水
 - ニ 軸受けの摩耗

7. 自在ぼうきの説明で最も適切なものはどれか。
- イ ヘッド部分が固定されている
 - ロ 隅々もよく掃ける
 - ハ ほこりをはね上げることが多い
 - ニ カーペット床に広く使われる
8. 建築物清掃の目的と意義として、最も不適切なものはどれか。
- イ 衛生的環境の確保
 - ロ 美観の維持
 - ハ サービスの提供
 - ニ 安全の確保
9. 洗剤使用上の注意点として、最も不適切なものはどれか。
- イ 建材に適した洗剤を使用する。
 - ロ 洗剤を希釈する場合、洗浄力を高めるために濃く使用する。
 - ハ 洗剤の効果を高めるため、温水(40℃程度)を使用する。
 - ニ 作業後は、水拭きを十分に行い洗剤分を取り除く。
10. 脚立上の作業として、最も不適切なものはどれか。
- イ 丈夫な構造であること
 - ロ 脚と水平面との角度は85度以下であること
 - ハ 開き止め金具がついていること
 - ニ 踏み面は適切な面積を有していること
11. すべり（転倒）災害の防止条件として、最も不適切なものはどれか。
- イ すべりやすい条件を減らす
 - ロ 適切な作業行動をとる
 - ハ 日常のトイレ清掃時の立ち入りを禁止する
 - ニ 通路を確保する
12. 建築物衛生法（略称）の特定建築物に関して、最も適切なものはどれか。
- イ 建築物の構造と延べ床面積によって定められている
 - ロ 百貨店は、延べ床面積4,000㎡以上が対象である
 - ハ 事務所は、延べ床面積2,000㎡以上が対象である
 - ニ 学校教育法に規定する小学校は、延べ床面積8,000㎡以上が対象である

13. カーペット製造方法の分類の中で、パイルのないカーペットはどれか。
- イ ウィルトンカーペット
 - ロ コードカーペット
 - ハ タフテッドカーペット
 - ニ ニードルパンチカーペット
14. 建築物内の日常清掃において、最も不適切な作業はどれか。
- イ 壁面・柱の高所部分の清掃
 - ロ 出入口マットの除じん
 - ハ 紙くず処理
 - ニ 家具、調度品のほこり取り
15. 自動床洗浄機の説明で最も適切なものはどれか。
- イ 洗浄液を床にまく、床面を洗浄する、汚水を集めるという3工程を1台で行える
 - ロ 前後、左右の移動が簡単にできる
 - ハ 床面に凹凸があっても均一に仕上がる
 - ニ 小回りがきくため、隅も洗浄しやすい
16. 外装仕上げ材のうち、金属系でないものはどれか。
- イ ステンレススチール
 - ロ アルミニウム
 - ハ プレキャストコンクリート
 - ニ 鋼板
17. 床維持剤を塗布する目的として、最も不適切なものはどれか。
- イ 床材を保護する。
 - ロ 美観を向上させる。
 - ハ 汚れを防ぎ除去を容易にさせる。
 - ニ 感触性・保温性・吸音性を高める。
18. 汚れの原因の組み合わせとして最も不適切なものはどれか。
- イ 人為的原因・・・衛生害虫による汚れの発生
 - ロ 自然的原因・・・降雨による汚れの発生
 - ハ 人為的原因・・・手あか・抜毛による汚れの発生
 - ニ 自然的原因・・・粉じん・炭素粒子による汚れの発生

19. ごみの収集に関する方法として、最も不適切なものはどれか。
- イ 収集作業はビルの閑散時に行う
 - ロ 収集容器は固定式の物を使う
 - ハ 収集は分別収集して行う
 - ニ 収集回数は1日1～2回を普通とする
20. ウイルスの説明として、最も不適切なものはどれか。
- イ 細菌、真菌とは異なる
 - ロ すべて寄生性
 - ハ 宿主細胞以外では増殖しない
 - ニ 床・ドアノブの上でも増殖する
21. 力学的構造形式による分類として、最も不適切なものはどれか。
- イ トラス構造
 - ロ つり屋根構造
 - ハ 組積式構造
 - ニ ラーメン構造
22. 清掃四区域として、最も不適切なものはどれか。
- イ 共用区域
 - ロ 専用区域
 - ハ 屋上・地下区域
 - ニ 管理用区域
23. ごみの中間処理として、最も不適切なものはどれか。
- イ 破碎
 - ロ 圧縮
 - ハ 焼却
 - ニ 埋没
24. 床用（フローア）パッドの種類と用途の組み合わせで最も不適切なものはどれか。
- イ 黒 － はく離作業
 - ロ 緑 － 光沢復元作業
 - ハ 青 － 一般洗淨
 - ニ 白 － 表面洗淨

25. 作業計画の種類として、最も不適切なものはどれか。
- イ 作業種別作業計画（日常清掃用、定期清掃用）
 - ロ 臨時・特別作業計画（床用、床以外用）
 - ハ 作業時間帯別作業計画（昼間用、早朝・夜間用）
 - ニ 作業曜日別作業計画（平日用、土・日祭日用）

2級 学科試験問題

< 正 解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	誤
2	正
3	誤
4	正
5	誤
6	正
7	誤
8	誤
9	正
10	誤
11	正
12	正
13	誤
14	誤
15	正
16	誤
17	正
18	誤
19	誤
20	誤
21	誤
22	誤
23	誤
24	正
25	正

B群 多肢択一法	
設問	解答
1	ハ
2	ハ
3	イ
4	イ
5	ニ
6	ニ
7	ロ
8	ハ
9	ロ
10	ロ
11	ハ
12	ニ
13	ニ
14	イ
15	イ
16	ハ
17	ニ
18	イ
19	ロ
20	ニ
21	ハ
22	ハ
23	ニ
24	ロ
25	ロ